

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

4年

※年度末の学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。

※上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをすること

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
毛筆学習のはじめに (P1-4) ◎[知識及び技能](3)エ(ウ) ○文字を書くことに適した姿勢と、筆や鉛筆などの筆記具の持ち方を理解することができる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を理解することができる。	適宜	適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真、絵を見たりしながら、書字に適した姿勢と筆記具の持ち方を確認し、その型をとる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を確認し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 毛筆学習に適した姿勢や筆記具の持ち方、用具の名称や扱い方、片づけ方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 合い言葉や写真を見て、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字を丁寧に書くために、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を実践しようとしている。
なぜ？なに？書写の不思議 すずりはどうやって作られているの？ (P5) ○硯の製造行程や原料、作品を知る。	適宜	適宜	○硯の製造工程や原料、作品について確かめる。	【知識・技能】 硯の製造工程や原料を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 硯や、硯に関連する様々な資料、情報に関心をもとうとしている。
一 三年生で学習したこと (P6-9) ◎[知識及び技能](3)エ(ア)(イ) ○三年生で学習したことを想起して書くことができる。	2	1 1	○三年生で学習したことを振り返り、それを意識して文字を書く。 ○三年生で学習したことを生かして、ことわざを書く。	【知識・技能】 三年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 三年生で学習したことをどのように活用すればよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 三年生で学習したことを活用して文字を書くようとしている。
学習の進め方 (P10-13) ○書字の課題を、自分で考えたり他者と話し合ったりして解決する書写学習の方法を理解することができる。	適宜	適宜	○書写学習の一連の流れを知り、自学自習や他者との意見交換を通して、効果的に学習する方法を理解する。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書写学習に適した学習方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題がどのように学習することで解決できるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でも整った文字を書けるように、「学習の進め方」を実践しようとしている。
二 曲がりと反り (P14-17) ◎[知識及び技能](3)エ(ア)(ウ) ○「曲がり」と「反り」の筆使いの違いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「元気」を書いて、「曲がり」と「反り」の筆使いの違いを理解する。 ○「曲がり」と「反り」の筆使いの違いを意識して、「礼」「浅」「好」を硬筆で書く。	【知識・技能】 「曲がり」と「反り」の筆使いの違いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「曲がり」と「反り」の筆使いの違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「曲がり」と「反り」の筆使いの違いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
三 点画の交わり方と接し方 (P18-20) ◎[知識及び技能](3)エ(ア)(ウ) ○点画の交わり方と接し方を理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「友」を書いて、点画の交わり方と接し方を理解する。 ○点画の交わり方と接し方を意識して、「協和」「辞典」などを硬筆で書く。	【知識・技能】 点画には、交わる部分と接する部分があることを理解している。 【思考・判断・表現】 交わる部分と接する部分がどこかを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点画の交わり方と接し方を意識して、硬筆に生かそうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
手書き文字と活字 (P21) ○手書き文字と活字を比較し、それぞれのよさを知る。	適宜	適宜	○手書き文字と活字を比較し、表し方が異なる部分や、受ける印象などについて話し合う。 ○手書き文字と活字の違いを意識して、それぞれの活用場面を考える。	【知識・技能】 手書き文字と活字には、それぞれ長所があることを理解している。 【思考・判断・表現】 手書き文字と活字の違いはどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 手書き文字と活字の違いを意識して、日常の場でそれぞれのよさを生かそうとしている。
四 筆順と字形 (P22-25) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○筆順に注意し、字形を整えて書くことができる。	3	3	○毛筆で「左右」を書いて、筆順と字形の関係を理解する。 ○筆順と字形の関係を意識して、「原」「成」「有」を硬筆で書く。	【知識・技能】 字形を整えて書くために、筆順に注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 字形を整えるために注意すべき筆順の部分はどこかを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆順と字形の関連性を意識して、硬筆に生かそうとしている。
五 文字の組み立て (P26-31) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○文字の組み立て方を理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「明星」を書いて、文字の組み立て方を理解する。 ○文字の組み立て方を意識して、「灯」「最」「固」などを硬筆で書く。	【知識・技能】 文字の組み立て方に注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 組み立てるときに、もとの漢字がどう変化するのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字の組み立て方を意識して、硬筆にも生かそうとしている。
六 点画の方向と間かく (P32-35) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○点画の方向と間隔の整え方を理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「果物」を書いて、点画の方向と間隔の整え方を理解する。 ○点画の方向と間隔の整え方を意識して、「単」「参」「然」を硬筆で書く。	【知識・技能】 点画の方向と間隔を整えて書く必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 整える方向と間隔がどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点画の方向と間隔の整え方を意識して、硬筆に生かそうとしている。
七 ひらがな (P36-39) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○横長と縦長の「結び」の筆使いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「ます」を書いて、横長と縦長の「結び」の筆使いを理解する。 ○横長と縦長の「結び」の筆使いを生かして、「み」「む」「る」を硬筆で書く。	【知識・技能】 「結び」の筆使いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 二つの「結び」の筆使いの違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 横長と縦長の「結び」の筆使いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
八 文字の大きさと配列 (P40-43) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○文字の大きさと配列を理解して書くことができる。	4	4	○封筒の表と裏の書き方を確かめて、文字の大きさと配列を理解する。 ○文字の大きさと配列を考えて、封筒の宛名書きをする。	【知識・技能】 文字の大きさと配列に注意して書く必要があるということを理解している。 【思考・判断・表現】 文字の大きさと配列を考える部分はどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字の大きさと配列を考えて、実際の書式にも生かそうとしている。
九 四年生のまとめ (P44-47) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○四年生で学習したことを振り返り、文字を書いて確かめることができる。	3	2 1	○「記念」「初夏」「感動」「望遠」などをなぞったり書いたりして、四年生で学習した文字の書き方を確かめる。 ○四年生で学習したことに気をつけて、短歌を書く。	【知識・技能】 四年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 何を意識してそれぞれの文字を書けばよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 四年生で学習したことを活用して書こうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
なぜ？なに？書写の不思議 和紙はどうやって作られているの？ (P48) ○和紙の製造行程や原料、作品を知る。	適宜	適宜	○和紙の製造工程や原料、作品について確かめる。	【知識・技能】 和紙の製造工程や原料を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 和紙に関連する様々な資料や情報、作品に関心をもとうとしている。
資料編 書写のしりょう館 その一 都道府県名を書こう (P49-53) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○47都道府県名を漢字で書くことができる。	適宜	適宜 適宜	○これまでに学習したことに注意して、47都道府県の名称を漢字で書く。 ○これまでに学習したことと自分の課題を確認し、都道府県名の漢字のまとめ書きをする。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習した書き方をどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の場面でも、学習した漢字を積極的に書こうとしている。
その二 ローマ字 (P54-55) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○ローマ字の書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○ローマ字表を確かめたり、大文字と小文字のローマ字のなぞり書きなどをして、ローマ字の書き方を理解する。 ○ローマ字の書き方を意識して、自分の名前や地名などをローマ字で書く。	【知識・技能】 漢字や仮名などと書き方が異なることを理解している。 【思考・判断・表現】 ローマ字の五十音の表記の法則性を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ローマ字の書き方を意識して、様々な言葉や名称をローマ字で書こうとしている。
その三 ひらがな・かたかなの表 (P56) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○平仮名・片仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、平仮名・片仮名を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した平仮名・片仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習した書き方をどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの平仮名・片仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その四 書き初めをしよう (折りこみ①) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ)(ウ) ○書き初めに適した姿勢を理解して書くことができる。 ○四年生で学習したことを生かして、書き初めを書くことができる。	3	1 1 1	○書き初めに適した姿勢を理解し、その型をとる。 ○四年生で学習したことに気をつけて「美しい心」の試し書きをし、自分の学習課題を確認する。 ○四年生で学習したことと自分の学習課題に気をつけて、「美しい心」を練習する。 ○四年生で学習したことと自分の学習課題を確認し、「美しい心」のまとめ書きをする。	【知識・技能】 「書き初め」という伝統文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習したことを活用して、書き初めをしようとしている。
その五 読みやすく書こう (折りこみ②) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○文字が読みやすくなる書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○プログラム、ノート、学級新聞の書き方を確かめて、文字が読みやすくなる書き方を理解する。 ○文字が読みやすくなる書き方を意識して、実際の書式に書いてみる。	【知識・技能】 文字が読みやすくなる書き方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 読みやすく書くために、どこを工夫すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字が読みやすくなる書き方を意識して、実際の書式にも生かそうとしている。
その六 はがき・原稿用紙・手紙の書き方 (折りこみ③) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○葉書、原稿用紙、手紙の書式を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○葉書、原稿用紙、手紙の書式を確かめて、理解する。 ○葉書、原稿用紙、手紙の書式と、これまでに学習したことを意識して、実際に書いてみる。	【知識・技能】 葉書、原稿用紙、手紙に書式があることを理解している。 【思考・判断・表現】 これまでに学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書式を意識し、実際の場で生かそうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
<p>その七 四年生で学習する漢字 (P57-59) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○四年生で学習する漢字を確かめることができる。</p>	適宜	適宜	○これまでに学習した漢字の書き方に注意して、四年生で学習する漢字を書く。	<p>【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 それぞれの漢字に、どの書き方を活用するか考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの漢字を意識して使おうとしている。</p>